

市報 取り戻そう、ふるさと石巻

いしのまき

1
JANUARY.2020
No.257

謹賀 新年

年頭のごあいさつ



石巻市長
山 紘 亀

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、心新たに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災から間もなく9年が過ぎようとしております。最大の被災地となった本市であります。おかげさまで「保健・福祉・医療・介護・地域」の連携・交流拠点であります(仮称)ささえあいセンターが本年3月に整備が完成予定となり、これにより石巻駅周辺地区津波復興拠点整備事業が完了する運びとなりましたことから、これまでの復興に向けた取り組みが着実に形となつてまいりました。

昨年を振り返りますと、3月には復興公営住宅の整備が完了し、5月には市役所と市立病院、(仮称)ささえあいセンターを結ぶ歩行者デッキが供用開始され、8月には川とまちを一体的に活用できる賑わいのある空間を創出する堤防一体空間が供用開始、さらには、同月から58日間にわたり「リポーンアート・フェスティバル2019」が開催されました。また、10月には牡鹿観光物産交流施設「cottu」がオープンするな

ど明るい話題が多い年でありました。

本年は、本市の震災復興基本計画に定める最終年度となります。蛇田支所及び蛇田公民館の複合施設が1月14日から供用開始され、半島沿岸部の3地区で進めてきた拠点エリアの整備につきましても、北上にっこり地区の全部、鮎川浜地区及び雄勝中心部地区の主要施設が3月に完成予定となっております。

本市の持続的発展を見据えたまちづくりの理念として、「クリエイティブ」「協働」「コンパクト」の3つをキーワードに掲げ、地域の価値を高め、新しい魅力と活力のあるまちづくりを進めるとともに、地域が共に支え合う協働のまちづくりを推進することで、子どもからお年寄りや障がいをお持ちの方など、誰もが役割と生きがいを持って笑顔で暮らせるまちの実現を目指してまいります。

また、新たな魅力と活力ある地域を創造するためには、市民と行政の協働によるまちづくりが必要でありますことから、復興完結に向け、残された事業を更に加速させてまいりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとって幸多き年になりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

